

Press Release

【報道関係各位】

2018年10月吉日

公益財団法人ポーラ美術振興財団

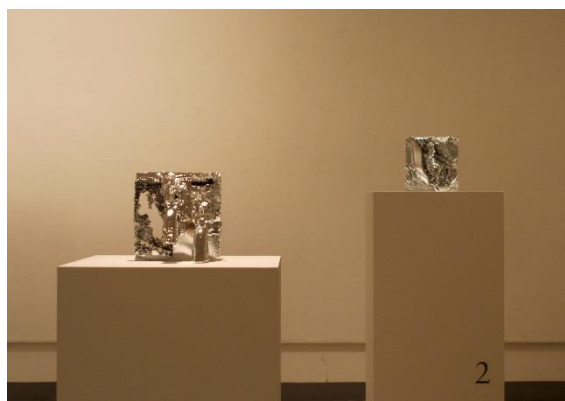
ポーラ美術館 2018年12月8日(土)より
SHIMURAbros 「Film Without Film 映画なしの映画」展 開催
会期：2018/12/8(土)～2019/3/17(日)

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、2018年12月8日（土）から2019年3月17日（日）まで、現代美術展示スペース「アトリウム ギャラリー」における HIRAKU Project 第7回目の展示として、SHIMURAbros「Film Without Film 映画なしの映画」展を開催いたします。



《Silver Screen》2012年、映像（20分／白黒）、鏡、プロジェクター、PC
展示風景：ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：Phantasmagoria、横浜市民ギャラリー

©SHIMURAbros



《Film Without Film - Piano / Donky, Pistol / Man》2012年、樹脂、塗料
22.0×22.0×26.0 cm
展示風景：ニューアート展 NEXT 2012 動く絵、描かれる時間：Phantasmagoria、横浜市民ギャラリー

SHIMURAbros は、姉のユカと弟のケンタロウによるアーティスト・ユニットです。映画作家からアーティストへの転身を果たした彼らは、ベルリンを拠点に、映像を中心とする数々のインスタレーションを発表してきました。その作品は「光」や「時間」、そして「物語」といった「映画」を構成するテーマに基づき、鏡や光学ガラスといった様々な素材や、3D プリンターや X 線 CT スキャンといった技術を用いて制作されています。これらの最新のデジタル映像技術を駆使した SHIMURAbros の作品は、いずれも「見る」ことを問い、現代の私たちの認識に揺さぶりをかけるものです。

本展のタイトルである「映画なしの映画」とは、1920年代のソビエト（ロシア）における実験映画の先駆者、レフ・クレシヨフが行った伝説的な実験映画の名称に由来しています。それを作品名にもつ《Film Without Film》は、映画の一篇をデータ化し、3D プリンターによって出力した彫刻作品です。また、2012年に横浜で初めて公開された《Silver Screen》では、スクリーンに映される光がスクリーンそばの鏡に反射し、作品をみる観客、さらに光を投影するプロジェクターを露わにします。

本展覧会では、「見る」ことや作品を見る「私たち」の存在に問いを投げかける SHIMURAbros の映像と立体の作品を通じて、映像メディアとリアリティの関係性という、映画の誕生から続く本質的な問いを再考します。

また、10月5日（金）から11月4日（日）まで、銀座のポーラミュージアムアネックスでの展覧会「見ることは信じること」にて、映像と噴水を中心にした新作インスタレーションも発表します。両会場で SHIMURAbros の世界をぜひご体感ください。

■ SHIMURAbros (シムラブロス) プロフィール :

姉のユカ (1976 年生まれ。多摩美術大学卒業後、英国セントラル・セント・マーチンズ大学院にて修士号を取得) と弟のケンタロウ (1979 年生まれ。東京工芸大学映像学科卒業) によるアーティスト・ユニット。「映画」にまつわる作品や、その解釈を拡げた意欲作を次々と発表。ポーラ美術振興財団在外研修 (2014 年) をきっかけとして、活動拠点をベルリンに移す。現在は同地にて、光や水、霧といった自然界の要素を取り入れた大胆かつ洗練されたインスタレーションで世界的に著名なアーティスト、オラファー・エリアソンのスタジオに研究員として在籍。主な展覧会に、「第 13 回文化庁メディア芸術祭」国立新美術館 (アート部門優秀賞受賞、東京、2009 年)、「Road to Singapore」シンガポール国立大学美術館 (2013 年)、「第 10 回恵比寿映像祭『インヴィジブル』」東京都写真美術館、日仏会館ほか (2017 年)、「SHIMURAbros」東京画廊 + BTAP (北京、2018 年) など。



■ アトリウム ギャラリー次回展覧会【2019年3月23日(土)～7月28日(日)】

大山エンリコイサム (おおやま・えんりこいさむ) プロフィール :

1983 年、東京生まれ。慶応義塾大学卒業後、東京芸術大学大学院修了 (2009 年)。エアロゾル・ライティング文化の視覚言語を翻案したモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」をベースに壁画やペインティングを制作する。ポーラ美術振興財団在外研修員としてニューヨークにて研修 (2013 年)。主な個展に「Improvised Mural」ロンドン芸術大学チェルシー校 (ロンドン、2015 年)、「Present Tense」タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京、2016 年)、「Windowsill」ルミネゼロ (東京、2017 年)、「Ubiquitous: Enrico Isamu Ōyama」マリアンナ・キストラー・ビーチ美術館 (カンザス、2017 年) など。著書に『アゲインスト・リテラシー —— グラフィティ文化論』(2015 年、LIXIL 出版)。現在ニューヨーク在住。

■ ポーラ美術館について (<http://www.polamuseum.or.jp/>) :

2002 年に神奈川県箱根町に開館。ポーラ創業家 2 代目の鈴木常司が 40 数年間にわたり収集した作品を中心に、西洋絵画、日本の洋画、ガラス工芸、古今東西の化粧道具など総数約 1 万点を収蔵。

・開館時間 : 9 : 00-17:00 (入館は 16 : 30 まで)

・休館日 : 無休 (展示替えのための臨時休館あり)

・所在地 : 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

・TEL : 0460-84-2111



■ 本件に関するお問い合わせ :

ポーラ美術館 広報担当 : 中西、藤田

TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局 (プラップジャパン内) 担当 : 名取、屋木

TEL: 03-4570-8172 / FAX: 03-4580-9128 MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp